



令和2年度予算編成方針について



基本方針

- 1 日本一暮らしやすい埼玉の実現
- 2 「誰一人取り残さない」SDGs施策の推進～埼玉版SDGs～
- 3 厳しさを増す財政状況を打破するための行財政改革

※現時点の収支見込み（一般財源ベース）
要調整額 △1, 365億円



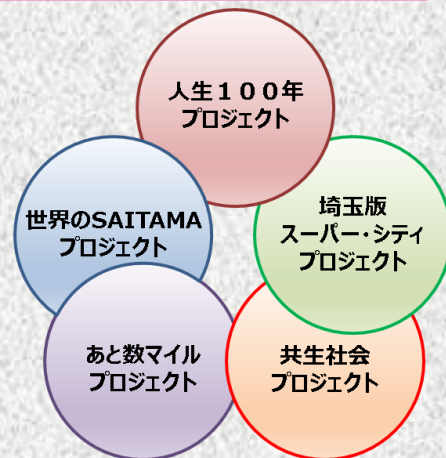


令和2年度予算編成方針について



1 日本一暮らしやすい埼玉の実現

- ◆5大プロジェクト(「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」、「人生100年プロジェクト」等)を推進
 - ◆上記のほか、医師確保や病児保育への対応、AIを活用した農林業振興、埼玉版FEMAの立ち上げ、行政のIT化などの16項目を重点的に実施
- ・公約については就任直後から副知事、部長などと議論を重ね、ビジョンを共有
- ↓
- ・先日公表した「知事公約に係る『取組の方向性』」を踏まえ、12月定例会までに公約実現に向けた工程表を整理
 - ・その後、予算編成過程を経て関連事業をブラッシュアップ





令和2年度予算編成方針について



2 「誰一人取り残さない」SDGs施策の推進～埼玉版SDGs～

◆SDGsの視点を取り入れ、持続可能な発展・成長に寄与する事業を積極的に推進

・県政の推進に当たっては、

- ①SDGsを指針として明確に位置付け
- ②埼玉県として取り組むべき重点テーマや官民協働による体制づくりを検討

埼玉版SDGsの推進へ



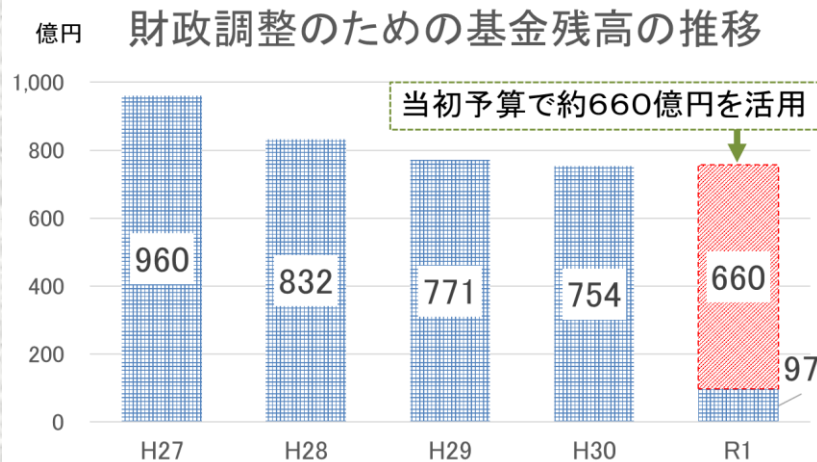


令和2年度予算編成方針について



3 厳しさを増す財政状況を打破するための行財政改革

- ◆ 県税の徴収対策の充実・強化などのあらゆる財源の確保及び事業の選択と集中の徹底など、歳入・歳出両面からの不断の見直し
- ◆ AI・RPAなど新技術の積極的な活用やペーパーレス化の徹底によるコスト削減



- ・ 財政調整のための基金残高は減少傾向、近年は700億円台で推移
- ・ 社会保障関連経費は今後も増加し続ける見込み

行財政改革の着実な推進